

添付資料1

東大病院でアミロイドーシスの診断を受けられた患者さんへ

「質量分析を用いたアミロイドの種類同定」研究への協力をお願い

東京大学医学部附属病院病理部では、当院を受診され、病理組織検体を採取させていただいた方を対象に、標本作製し、患者さんの病理診断を行っております。病理組織標本は患者さんの病変のある部分から直接採取されるものであるため、画像検査や血液検査等の他の手段では得られない様々な情報を知ることができます。これらの情報を元に研究を行うことは、各種の疾病に対する知見を深める上で重要です。

そのため、当院病理部、及び東京大学大学院医学系研究科人体病理学教室では、当院でアミロイドーシスと診断された患者さんのデータを用いて研究を行っております。具体的には、臨床情報(問診や診察所見、疾患名、処置・手術・投薬等の治療内容、放射線画像(CT, MRI, 核医学検査)、血液検査・生理検査・尿検査・便検査等の各種検査データ、各種臨床評価指標)、及び生検や手術、剖検で採取された組織検体(パラフィン包埋検体、凍結検体、電顕検体)標本を対象とします。画像診断等でアミロイドーシスが疑われた患者さんは含まれません。

この研究は過去の診療記録、及び通常病理診断後の標本を対象として行われますので、患者さんご本人の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。学会や論文で結果を発表する際には、個人の特性が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、或いはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡頂きたいと存じます。ご家族及び後見人の方からのご連絡も承ります。なお、本研究は当院の倫理委員会の承認を得ております。また、ご自身の検体の研究への使用をお断りになった場合でも、将来にわたって患者さんが当院における診療上の不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

2019年2月

東京大学医学部附属病院

住所:東京都文京区本郷7-3-1

電話:03-3815-5411 (内線30640) FAX:03-3814-0021

Eメールでのお問い合わせ: [shintaniy-pat@h.u-tokyo.ac.jp](mailto:shintaniy-pat@h.u-tokyo.ac.jp)

医療機関名:東京大学医学部附属病院

診療科名:病理部 担当者: 堂本裕加子 (診療科責任者 牛久哲男)